



## 1. 離脱協定承認審議の難航

- ◆ 1月15日, EUとの間で合意した離脱協定案が230票の大差で否決。
- ◆ 3月12日, メイ首相は, 11日にEUとの間で新たに合意した付属文書を付して, 離脱協定案の採決を再び求めたが, 下院は否決。(賛成242, 反対391)
- ◆ 13日, 下院は, 合意なき離脱を拒否するとの動議を可決。(賛成321, 反対278)。
- ◆ 14日, 下院は, 離脱期限の延期を含む動議を可決(賛成412, 反対202)。

## 2. 欧州理事会(3月20~21日)の結果

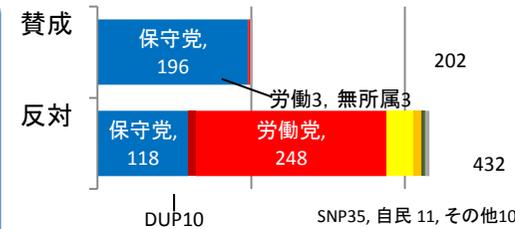
- ◆ 離脱協定が3月29日までに英下院により承認される場合, 離脱期限は5月22日まで延期。
- ◆ 離脱協定が3月29日までに英下院により承認されない場合, 離脱期限は4月12日まで延期。欧州理事会での検討のため, 英国は同日までにその後の方策を示す。

### 【前文における補足】

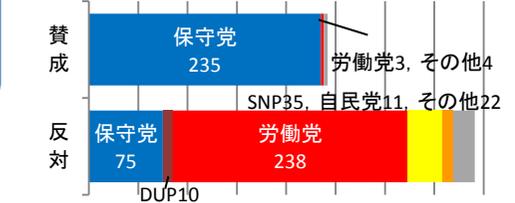
- 英国が5月23日から26日において加盟国である場合, 欧州議会選挙に参加する義務を負う。当該選挙に参加する場合, 4月12日までに選挙の公示を行う必要がある。
- 離脱協定は再交渉しない。

EU側は, 改めて離脱協定再交渉を否定しつつ、4月12日までの短期間の猶予を与えて英国に決断を要求(欧州議会選挙への参加の是非、離脱協定の承認か長期延期か等)。

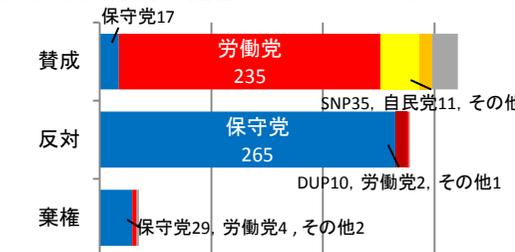
離脱協定採決(1/15):  
230票差の大差で否決



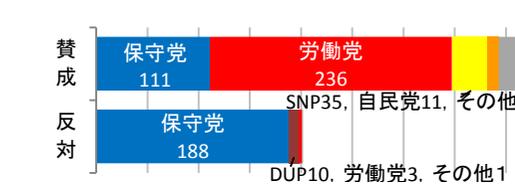
離脱協定案再採決(3/12): 149票差で否決



合意なき離脱の拒否(3/13): 321対278で可決

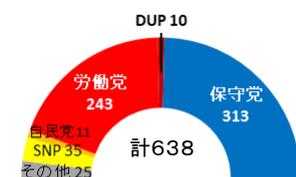


離脱期限延期(3/14): 412対202で可決



※採決時の立会人を務める賛成・反対双方からの2名。計4名は採決結果の数に含まれない。

英下院の構成(2月27日現在)



※議席数は650。可決は過半数(320票)必要。  
 ※採決に参加しない議長(1名(元保守党))・副議長(保守党1名、労働党2名)、登壇しないシン・フェイ党(7名)、欠員(1名)を除いている。

### 3. 各党の立場

- ◆ 保守党: 離脱強硬派は引き続き一定数が政府の離脱合意に反対姿勢。離脱期限延期を批判し、メイ首相のEU離脱をめぐる政権運営を公然と批判する者、辞任を求める者も。

※24日、メイ首相は閣僚及び離脱強硬派議員を首相別荘に召集し、今後の方針を協議。一部閣僚が首相の辞任を求めているとの報道があるが、後任として名前が挙げられた閣僚(ゴーブ環境相、リディントン内閣府担当相)は否定。

- ◆ DUP(北アイルランド地域政党): 離脱協定が修正されていないことを批判。延期は「屈辱的」と指摘。
- ◆ 労働党: 政府案に反対。関税同盟・単一市場との緊密な関係を支持。
- ◆ 自民党, SNP(スコットランド国民党): 離脱に反対。再国民投票を要求。

### 4. 3月25日の議会におけるメイ首相ステートメント

- ◆ 欧州理事会は、離脱協定の再交渉がないことを強調した。離脱協定案変更は選択肢になり得ない。
- ◆ 現時点では3回目の採決のために依然として十分な支持を得られていないと結論づけざるを得ないことは非常に残念。今週採決を行って、EU離脱を実現できるよう、議員と議論を続けている。
- ◆ 意見表明投票には懐疑的。採決結果がEUと交渉不可能な結果になり得るリスクあり。議会の採決結果を実現することについて、政府としてコミットできない。
- ◆ 今週(25日の週)下院が離脱協定を承認せず、合意なき離脱を支持する準備がない場合、欧州議会選挙を行うことを含意する。

### 5. 3月25日の議会での採決と今後の議会日程

- ◆ 議員主導の議事日程を27日に設ける修正案が可決。(政府は反対。与党から30名が造反。)
  - 意見表明投票(インディカティブ・ボート: 複数の選択肢(例: 離脱の撤回, 再国民投票, EU関税同盟残留, カナダ型FTA, 「合意なき離脱」等)を示し、下院の支持を得る方針を探るもの)の実施を目指す動き。26日午前時点で手続は未定。